

兵庫県監察医務室の現状

監察業務の実施体制

- 常勤監察医 1名
- 非常勤監察医 12名
- 解剖助手 7名
当番日は監察医・助手
各1名が全件対応
- 事務員 2名
- 検査担当者 1名

施設

- 解剖室
- 事務所

検査

- アルコール
- 病理組織
- 一酸化炭素ヘモグロビン
- 薬物
- 臨床生化学

令和7年実績

- 検案数 1,498件
(うち、解剖数 1,084件)
監察区域人口 約106万人

地域との連携1



心肺停止搬送事例の検討会

- 中央市民病院・災害医療センター・こども病院の救急部門と連携
- 臨床へ解剖結果をフィードバック、救急診療の質向上
- 法医学的知見の共有
- 検案・解剖精度の向上

地域との連携2

兵庫県医師会臨床警法医会研修会

- 平成13年から年2回、累計48回開催
- 医師、歯科医師、警察・消防等が参加
- 県医師会死体検案認定医制度の教育基盤

今後の方向性

- 地域医療機関との連携強化
- 解剖によって得られた知見の継続的還元
- 検案人材育成の推進
- 監察制度の質の維持・向上